

公開実用 昭和 58— 99714

19 日本国特許庁 (JP)

20 実用新案出願公開

12 公開実用新案公報 (U)

昭58—99714

50 Int. Cl.<sup>3</sup>  
H 01 B 7/00  
7/36

識別記号

厅内整理番号  
7435—5E  
7161—5E

43 公開 昭和58年(1983)7月7日

審査請求 有

(全 頁)

64 裸線

岐阜市安良田町1丁目15番地株  
式会社ハヤシ内

21 実 願 昭56—197124

22 出 願 昭56(1981)12月28日

岐阜市安良田町1丁目15番地

23 考 案 者 林隆聖

24 代 理 人 弁理士 仙波正

外2名

## 明細書

### 1. 考案の名称

絶縁電線

### 2. 実用新案登録請求の範囲

電気導体 1が複数本並べられて透明な外被 4で  
共通に被覆されてなる絶縁電線。

### 3. 考案の詳細な説明

#### (考案の目的)

本考案は、商品陳列ケース等に内蔵された照明器具へ電気を供給するために使用される絶縁電線の改良に関するものである。

本考案の主たる目的は、絶縁電線の被覆を透明体に形成することにより、商品陳列ケース等内における装飾効果と照明効果を高めることにある。

#### (従来技術)

従来、商品陳列ケースに内蔵された照明器具へ電気を供給する電線は、灰色等に着色された不透明体のものが使用されていた。今日の商品陳列ケ

(1)

# 公開実用 昭和 58-1 99714

ースは、商品を収容するという機能だけでなく、その商品を豪華に見せるためにケースを全て透明ガラスで作るとともに照明器具で照明して豪華効果を高めるようにしたものが多くなってきている。ところで、従来の灰色に着色された電線が透明ガラスの表面に配線されると違和感を与え、美観を損なう欠点があった。そのため、電線は陳列ケースのコーナにしか配線できず、照明器具の取付け位置が制限される等の不都合を生じることが多かった。

## (考案の構成)

本考案は、上記欠点を解消するため、被覆を透明体に形成することにより透明ガラスに対して違和感を与えないようにしたもので、以下実施例を図面に基づいて説明する。

第1図において、電気導体1は所要の絶縁性と可挠性を備えた透明な合成樹脂製のシース2で被覆されて絶縁線3を形成している。この絶縁線3

は 2本またはそれ以上複数本平行に並べられてさらに共通の外被 4で被覆されている。外被 4はシース 2と同様に所要の絶縁性と可挠性を備えた透明な合成樹脂で形成される。電気導体 1には銅線の地肌が露出した銅色を呈するものと、銅線にメッキが施されて銀白色を呈するものがある。従つて、図に示すように 2本の電気導体 1を平行に設ける場合には、2本とも銅色を呈する電気導体 1を組合わせるときと、銅色を呈する電気導体 1と銀白色を呈する電気導体 1を 1本ずつ組合わせるときがある。銀色の電気導体 1を 1本ずつ組合わせた絶縁電線の方が電気配線において利点が多い。特に、直線回路において使用されるとき、プラス側とマイナス側の識別が容易で、該配線のおそれがない。

外被 4の断面形状は第 1図に示す偏平な長円形のほか、第 2図に示す断面長方形状のもの、第 3図に示す断面三角形状のものがある。

公開実用 昭和 58- 99714

第 2図に示す断面長方形のものは、第 1図に示す偏平な長円のものに比べて取付け面に対する接觸面積が大きくなるから、ステップルによる固定が不能なガラスに対しても接着剤による固定が容易である。従って、陳列ケースのコーナーだけでなく第 4図に示すように陳列ケースの壁面中央部にも容易に配線固定することが可能となる。

次に第 3図に示す断面三角形のものは、第 4図に示すように壁面が直角に構成されたコーナへ配線する場合に適し、壁面に隙間なく密着し、しかも接觸面積が大きくなるから、接着剤による固定が容易となる。

上記実施例の絶縁電線をガラスに接着して使用する場合には、外被 4の外面に予め接着剤（感圧性接着剤）を塗布するとともにその接着剤層を剥離紙で保護しておき、使用時に剥離紙を剥して取付け面に押圧するとよい。接着剤は両面接着テープであってもよい。



尚上記実施例は、電気導体 1をシース 2で被覆してなる絶縁線 3を共通の被覆 4で被覆したが、第 5図に示すように電気導体 1を直接共通の被覆 4で被覆してもよいことは勿論である。

#### (考案の効果)

本考案は、外被を透明に形成した絶縁電線であるから、ガラス面に固定されても調和し、美観を損うことがない。しかも内部の電気導体が透視でき、照明器具から光線を受けることにより乱反射するとともに電気導体が光沢を発生して装饰効果を高める。また配線が陳列ケース等の美観を損なうことがないから照明器具を最適の位置へ取付けることができ、照明効果を高めることが可能である。さらに電気導体が透視できるから調配線のおそれがない。

#### 4. 図面の簡単な説明

第 1図は本考案第 1実施例の斜視図、第 2図は第 2実施例の斜視図、第 3図は第 3実施例の斜視

公開実用 昭和 58— 99714



図、第 4図は使用状態を示す断面図、第 5図は第  
4実施例の斜視図である。

(主要部分の符号の説明)

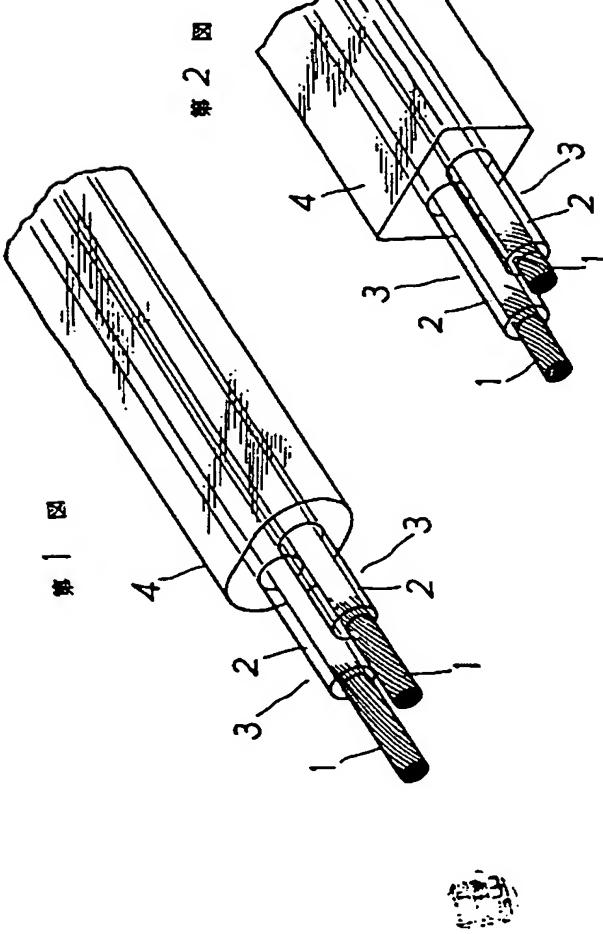
1……電気導体 2……シース

3……絶縁線 4……外被

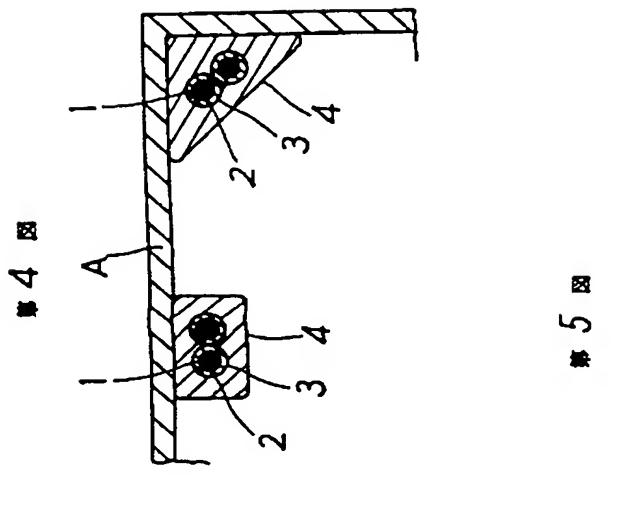
代理人 弁理士 仙 波 正 (外 2名)



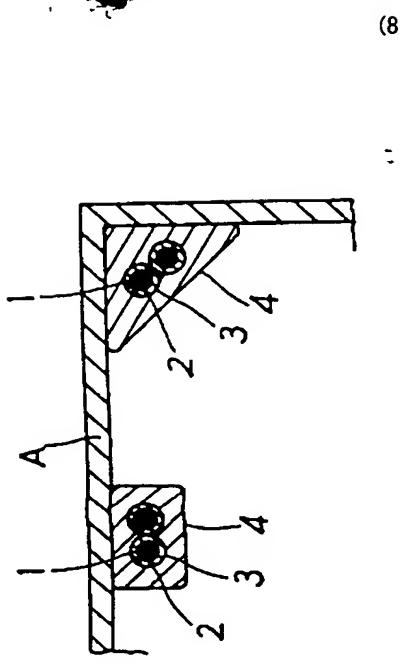
特許出願



第2図

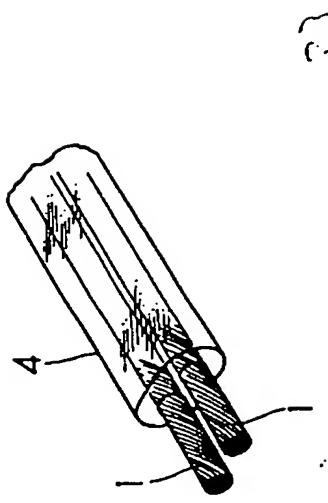


第4図



(8)

第5図



138

特許58-99714

代理人 兼利士 仙波 正 外2名

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

---

- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**